

Ⅶ 事業記録の書き方，グループ支援の記録の書き方

1 事業の記録の目的

- (1) 記録は経過報告ではなく、「目標に対する評価を明らかにするもの」「新たな地域のニーズを顕在化させるもの」である。
- (2) 「目標」に応じて成果が明らかにできるように，Plan（計画），Do（実施），Check（評価），Action（改善）に基づいた記録をする。

2 事業記録の書き方

(1) グループ支援の記録のポイント

- ア グループと個人の成果
- イ 保健師の支援プロセス
- ウ 事業の目標

以上の3点を明らかにすることが重要

(2) 事業の記録の基本的要素

- ア 保健師の思考過程を Plan/Do/Check/Action で書く
- イ 連携，協働する（保健師間・他職種，関係機関）
- ウ 情報を整理する
- エ 事実を確認し，問題の構造を分析する
- オ 保健師の判断を書く
- カ 助言・指導内容を示す…保健師が行った具体的な支援内容を書く
- キ 保健師の対応に対する利用者の反応，意思決定，同意したことを書く
- ク 支援計画を書く
- ケ 事業の評価をする（地域全体をアセスメントする）
- コ 問題点の是正をする
- サ 活動記録票や活動マニュアル等の作成をする
- シ グループ支援から地域活動へ展開する

グループ支援記録・評価記録

対策	地域の健康課題
----	---------

事業名	
-----	--

目標	課題を解決するために、本日の教室では何を目標としているのかを具体的に記載する		目標に沿った評価指標	目標に沿った具体的な評価をする		Check
実施日		計画	ねらい	実施		評価
実施場所		★タイムスケジュールに沿って記載		★タイムスケジュールに沿って記載	Do	◆事業運営について 具体的なプログラムがねらい通りに運営できたのか？ 参加者の反応はねらい通りであったか
参加人数						
スタッフ						
成果		Plan				◆参加者の様子
改善点 連絡事項 注意事項	Action					